

Event: 2022 SCIRA All Japan Championship Race Number: 5
Hearing Schedule: 2022-08-26

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 12: Snipe - Senior - JPN 31358 - Ayako Tashiro - Yudai Okumura
Snipe - Senior - JPN 31308 - Takuhiro Nishio - Kureha Yamamura

Request No.: 11: Snipe - Senior - JPN 31308 - Takuhiro Nishio
Snipe - Senior - JPN 31358 - Ayako Tashiro

Request No.: 10: Snipe - Senior - JPN 31308 - Takuhiro Nishio - Kureha Yamamura
Snipe - Senior - JPN 31358 - Ayako Tashiro - Yudai Okumura

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

審問番号10,11は、審問番号12と密接に関連したインシデントであったため、審問はRRS 63.2 に従って審問番号12として同時に行った。

FACTS FOUND

第5レースの3レグにおいて、風速は13ノット、波はほとんどなかった。
31358と31308はポートのアビームで帆走していた。
31358がクリア・アヘッド、31308がクリア・アスターンであった。
31308は31358の1艇身風上側を帆走していた。
31358は、衝突コースにあったスターボード・タックの艇を避けるためにタックを求めて声かけをしたが、31308には聞こえていなかった。
31358がラフィングを開始した時、31308は31358の風上側にオーバーラップした。
31308はスターボード・タックの艇の後方を通過しようとし、ルームを求めて声かけをしたが、31358には聞こえていなかった。
31358がクローズ・ホールドになった時、31308はラフィングを開始した。
この時両艇の艇間は、半艇身であった。
31358が風位を越えた直後、31358のポート側のハルの前方1mと31308のバウが接触した。
31358のハルには約40cmのクラックが入り、浸水する状況にあった。
31358は第5レースを帆走し、フィニッシュした。
両艇ともペナルティを履行していない。

Diagram: No Diagram Needed

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 規則13

タッキング中の艇31358はそうでない艇31308を避けていなかったため、規則13に違反した。
31358の行動により航路権艇となった31308にとって、この時点で31358が避けていないことは明らかではなかった。
31308は31358との接触を回避する行動をとることは、常識的に可能ではなかった。31308は規則14に違反していない。

第5レースにおいて31358をDSQとする。

PROTEST COMMITTEE

Chaired By: Hirofumi Fujii (JPN)

Committee Members: Masahiro Yoshimoto (JPN), Shinichi Taguchi (JPN)

Printed: 2022-08-27 09:47